

令和2年度 熊本県立荒尾支援学校進路便り第4号（通巻NO. 50）

わーく&らいふ

令和2年10月29日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

「Just do it!（やるしかない!）」
～「行動」が人生を変える（かも）～

「Just do it!（やるしかない!）」

まもなく11月。高等部一般学級1・2年生の現場実習が始まります。
生徒たちは例年、この実習に真剣に取り組み、経験を積み、ひとまわり大きく成長した姿を私たちにを見せてくれます。

学校から現場（社会）へ学びの場を移して過ごすこの2週間は、楽しさとともに厳しさも肌で感じるチャンスです。

■仕事以外に、実習先から評価されること

実際、仕事や活動以外に、どの職場でも必ず評価されるのが「行動規範」です。「行動規範」とは平たく言うと「（当然）すべきこと。」「できて当たり前のこと。」であり、「ルール」や「マナー」もこれに当たり、本校では5つに焦点を絞ってわかりやすく「キャリアアップ・チャレンジ5」と名づけて指導しています。

■一生懸命はかっこ悪い？

ところが思春期・反抗期に加えて、自分に自信がもてない生徒も多く、「キャリアアップ・チャレンジ5」の行動を、頭ではわかっているが「素直にできない。」「かっこ悪い。」「やりたくない。」という感情も見取れます。

■だからこそ「Just do it!」

そこで生徒へ贈った言葉が「Just do it!（やるしかない!）」。
「心（頭の中の考えや感情、意思など）」は周りから見えないけれど、「行動」は周りから見え、私たちが思う以上にしっかりと評価されるものです。

キャリアアップ チャレンジ5

- 1 気持ちいい あいさつ へんじ
- 2 きちんとした 身なり
- 3 ていねいな ことばづかい
- 4 時間・約束を まもろう
- 5 そうじ・かたづけ

となれば、恥ずかしがっていても、言い訳しても始まりません。「もうやるしかない。」「やって見せるしかない。」のです。

「行動」でアピールすることが、自分の人生を変えるかも知れないことを生徒にはお話しました。期待したいものです。

前期「キャリアアップ・チャレンジ5」意識調査結果

前期末高等部一般学級の生徒たちに「キャリアアップ・チャレンジ5」の自己採点をしてもらいました。

■プラス評価ランキング

4段階で自己採点しプラス評価とマイナス評価の割合を比べた結果次のようになりました。

- 【第1位】掃除・整理整頓（プラス評価 78.5 %）
- 【第2位】きちんとした身なり（プラス評価 76.9 %）
- 【第3位】気持ちいいあいさつへんじ（プラス評価 72. %）
- 【第4位】時間・約束を守る（プラス評価 69.2 %）
- 【第5位】ていねいな言葉遣い（プラス評価 60.0 %）

保護者の皆様のお子さん評価と比べていかがだったでしょうか？
案外生徒たちは、ご家庭とは違う姿を見せているかも知れません。

中には、私たち教師の評価と比較して「低すぎる」評価や「高すぎる」評価をしている生徒もちらほらいました。

特に「低すぎる」評価をする生徒には、できていることをていねいに伝え、フィードバックをしていく必要があります。

お子さんの自己評価とご家族評価の違い、ご家庭でもぜひ話題にしてみることをおすすめします。

編集後記

毎年書かせていただいている言葉で恐縮ですが今一度。社会で求められる「当たり前」を教えるには、私たち大人の日頃の「心がけ」が大切だと言われています。「教えたように子は育つ。」の精神です。それにはまず「私たち親・大人が率先してやってみせる。」その上で「たくさん体験させる。」「強制はしない。」「うまくできなくても叱らない。（責めない）」そして、できたときの「ほめ言葉」、うまくいかなかったときの「いたわりの言葉」など、お子さんをポジティブにさせる温かな言葉のシャワーがあれば、家族の愛情関係・信頼関係が深まり、お子様の自己有用感も高まります。そしてこの、愛情をもち人を信頼する感情と自己有用感が社会参加の重要な鍵となります。（谷口）

